

この授業の成績は、こう決まります

この紙のゴール：学期はじめの1回で、評価の質問を先に片づける

学期末に来る質問のほとんどは、学期のはじめに1枚配れば来ません。数字の欄は空けてあります—先に自分で決めて書き込み、印刷して配ってください。決めていない数字は書けないので、この紙をうめること自体が、評価計画の点検になります。

この授業で見るもの 3つの観点で見ます。テストの点はそのうちの一部です

観点	どういうか	何で見るか
知識・技能	覚えたことと、練習した型が使えるか	定期考査の前半／小テスト
思考・判断・表現	初めて見る英文や場面で、自分で考えて答えを作れるか	定期考査の読解・英作／話すテスト
主体的に学習に取り組む態度	できなかったことに気づいて、やり方を変えたか	振り返りの記述／直しの提出

「主体的に学習に取り組む態度」は、まじめさや提出したかどうかではありません。前回できなかったことを、次はどう変えたかを見ます。

材料と回数 この学期に使う材料です（先生が記入します）

観点	何で見るか	学期に何回	重み（％）
知識・技能			
思考・判断・表現			
主体的に学習に取り組む態度			

A・B・Cと評定 観点ごとにA・B・Cをつけ、3つを合わせて評定にします

決めごと	この授業では
Aになる得点率	
Bになる得点率	
評定5になる条件	
評定2以下になる条件	

よくある質問

- ・テストの点がよければ評定は上がりますか—上がりますが、テストだけでは決まりません。テストで測れるのは3つの観点のうち2つまでです。
- ・提出物を全部出せば5になりますか—なりません。出したかどうかではなく、出したものが前より変わっているかを見ます。
- ・英語が苦手でも上げられますか—上げられます。初めて読む英文で自分の考えを書く問題は、単語をたくさん知っているかどうかとは別の力です。
- ・欠席したテストはどうなりますか—別日に受けます。受けられない事情があるときは、先に相談してください（黙って空欄のままだと、材料が無いことになります）。
- ・話すのが苦手です。不利になりますか—話す量ではなく、やり取りが続いたかを見ます。規準は事前に配るので、練習する場所が分かります。

締切のこと 評定に入れる材料の締切は、学期末の3週間前に予告します。その日を過ぎた提出は受け取りますが、評定には入りません—先に出した人と同じ扱いにはできないためです。間に合わないと思った時点で相談してください。

評価の説明プリント | 配り方と、空欄に入れる数字

配るタイミング

- ・最初の授業の最後の5分に配ります。最初に配ると、その日の授業が評価の話で終わります。
- ・読み上げないこと。質問を1つだけ受けて終わるのが、いちばん記憶に残ります（全部説明すると、誰も覚えていません）。
- ・保護者会の資料としてそのまま使えます。学級通信に挟むより、この1枚を渡すほうが問い合わせが減ります。
- ・学期の途中で比率を変えないこと。変えるなら次の学期からで、その旨をこの紙の余白に書いて配り直します。

空欄に入れる数字 決め方は評定の出し方（別紙）に。ここでは最低ラインだけ

欄	最低ライン
回数	どの観点も学期に2回以上。1回だと、その日の調子で評定が決まります
重み	合計100%。1つの材料が60%を超えるなら、それは実質1回勝負です
Aの線	得点率80%が出発点。学校の規程に定めがあれば、そちらが優先です
評定5の条件	3観点すべてがAか、それに準じる形。決めたら学期の途中で動かしません

この紙が効く場面

- ・返却のとき―「なぜこの点か」の説明が、観点の名前で通ります。生徒の手元に同じ紙があるので、指さして話せます。
- ・面談のとき―上げるために何をすればいいかを、材料の名前で答えられます（「がんばる」で終わりません）。
- ・学年の途中で担当が変わるとき―一次の担当がこの1枚を見れば、生徒に何を約束してあるかが分かります。

配る前のチェック

- ☐ 空欄をすべて埋めたか（1つでも空いていると、そこが質問になります）
- ☐ 3観点それぞれに材料が2つ以上あるか
- ☐ 重みの合計が100%になっているか
- ☐ 締切の日付を入れたか
- ☐ 同じ学年の他クラスと、比率がそろっているか

